

事業番号	04 01 01	事業改善シート (25年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	芸術文化活動推進事業費①			担当課	部局 県民文化部 課・室 文化政策課 E-mail bunka@pref.nagano.lg.jp 実施期間 S55 ~
総合5か年計画	プロジェクト	6-5-2 誇りある暮らし実現プロジェクト			
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 2 文化芸術の振興			

1 事業の概要

目指す姿	優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会を広く県民に提供し、心豊かな暮らしの実現を目指す。 成果目標: 文化芸術活動に参加した人の割合 62.5% (H24) → 70.0% (H29)		
現状	県民が芸術や文化に親しむとともに、文化芸術活動に参加し個性豊かな創造性を発揮できる環境が求められている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 可能	【左記の説明、根拠法令等】 文化芸術振興基本法、長野県文化芸術振興指針	

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○ 県民芸術祭参加者数: 221,600人 (現目標維持) ○ 県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業参加者数: 2,500人 (過去平均2,200人 H25は30周年のため拡充) ○ 伊那文化会館芸術鑑賞促進事業鑑賞者数: 900人 (過去平均865人)					
	② 事業内容 (単位: 千円)					
	項目	実施方法	H25 事業実績		H26	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	1. 県民芸術祭開催事業	直接・負担金	・県民コンサート(3か所) ・芸術文化団体参加事業(県大会・発表会などを芸術団体と共催)43団体	7,297	6,653	7,297
	2. 地域創造負担金	負担金	(財)地域創造への負担金支出	9,853	9,853	9,878
3. 県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業共催負担金	負担金	ウィーン演奏家招へいによる事業の開催(4月~11月) ・室内楽演奏会の開催 ・開館30周年ベートーヴェン第九演奏会の開催 ・おでかけセミナーの開催 ・おでかけ・ふれあいコンサートの開催	5,000	5,000	5,000	
4. 伊那文化会館芸術鑑賞促進事業共催負担金	負担金	・プラハ国立歌劇場オペラ「魔笛」開催(10月)	4,000	4,000	4,000	
5. 文化施設芸術文化普及事業補助金	補助金	・佐久創造館指定管理者が実施する自主事業を支援(全額(財)地域創造助成金活用)「大きな輪となれジョイントコンサート」	1,200	1,200	1,700	
6. その他共通経費	直接	旅費・需用費、コピー代等	1,304	2,540	1,449	
		合計	28,654	29,246	29,324	

事業コスト	区 分(単位: 千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	
	当初予算	33,897	40,283	28,654	29,324
	補正予算	0	977	1,317	
	合計(A)	33,897	41,260	29,971	29,324
	Aの財源				
	国庫支出金	0	1,007	0	
	県 債	0	0	0	
	その他(宝くじ等)	32,445	35,913	27,350	27,875
	一般財源	1,452	4,340	2,621	1,449
決 算 額(B)	28,973	40,708	29,246		
概 算 人員数	職員数(人)	0.47	0.67	0.57	0.57
概算人件費	概算人件費(C)	3,881	5,533	4,707	4,707
概算事業費(B(A)+C)		32,854	46,241	33,953	34,031

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
県民芸術祭参加者数	193,707人	221,600人	216,825人	未達成	221,600人
県文・ウィーン姉妹提携事業参加者数	2,311人	2,500人	3,449人	達成	2,200人
伊那文オペラ鑑賞者数	-	900人	1,021人	達成	900人

目標に対する成果の状況	県民芸術祭参加者数については、参加者の高齢化が進んでおり、次世代向け啓発事業を拡大する等により前年度より増加したものの、目標参加者数には達しなかった。鑑賞者アンケートによると「満足・ほぼ満足」と回答した方が86.2%と引き続き高かった。今後は事業PRを更に工夫していく必要がある。県文・ウィーン姉妹提携事業と伊那文オペラについては、目標に達する多くの方に鑑賞いただいた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き芸術文化の鑑賞や発表の機会を増やすなどの取組を進めていく。
--------------------	--